

動物の行動と管理学会
2026年度研究発表会

プログラム&要旨集

日時： 令和8年3月24日(火)～3月26日(木)

会場： まつもと市民芸術館

口頭発表会場 小ホール

ポスター発表会場 M2 会議室

動物の行動と管理学会 2026年度研究発表会プログラム

まつもと市民芸術館 2026年3月24日（火）～26日（木）

3月24日（火）

公開シンポジウム 「仮想フェンシングシステム —ウシへの学習の効果と精密放牧管理—」

場所：小ホール

時間：15:00～17:30

No.	時刻	演題および演者
	15:00	趣旨説明 竹田謙一（信州大）
	15:10	乳肉用牛生産現場における放牧の活用とVF導入の展望 梨木 守（日本草地畜産種子協会）
	15:30	基調講演 Rethinking Boundaries: Science, Welfare and Practice of Virtual Fencing and Herding Technologies Megan Vardon（University of Tasmania）

3月25日（水）

口頭発表（優秀発表賞対象）

場所：小ホール

時間：10:10～14:30 *各演題は、発表8分＋質疑応答5分とする。○は発表者。

No.	時刻	演題および演者	座長
	10:00	開会の挨拶	
Y-1	10:10	生産農家における妊娠期のストール飼育と群飼育の生産成績比較 ○徳永有輝・前田佳良子・富高正貴・中川瑛輝・小林正弘・加藤敬介・稲永敏明・伊藤秀一 （東海大院生物科学・セブンフーズ株式会社・東海大理・東海大院理・東海大農）	椎葉 湧一郎
Y-2	10:25	採卵鶏における刷り込み学習がエイビアリーシステムでの行動に与える影響 ○高山沙耶・徳永有輝・木本遥己・今井早希・稲永敏明・伊藤秀一（東海大院農・東海大院生物科学・東海大農）	
Y-3	10:40	日本の動植物検疫探知犬の探知精度と経験の関係 ○永高由璃菜・松山ひかる・藤井亮賢・渡邊穂人・池田一樹・横山理恵子・田村愛子・福田麻衣・岩永真希・福澤めぐみ （日大生資院・日大生物資源・農林水産省動物検疫所）	
Y-4	10:55	飼育下フンボルトペンギンのつがい外の繁殖行動に関する研究 ○石黒日陽・八木原風・村上勝志・伊藤幸太郎・森 玲菜・土橋恵祐・船坂徳子（三重大生資・南知多ビーチランド）	小倉 匡俊
Y-5	11:10	環境エンリッチメントに対するフンボルトペンギンの反応と個体差について ○渡邊義輝・伴 和幸・奥野浩史・二宮 茂（岐大院自然研・岐大動セ・豊橋総合動植物公園・岐大応生）	
Y-6	11:25	屋内飼育下のミナミアメリカオットセイにおける常同行動発現状況調査 ○大村優香・常住洋枝・中島有奈・柿崎智広・加瀬ちひろ・池田裕美（麻布大院獣医・すみだ水族館・麻布大獣医）	
	11:40-13:30	～休憩～	
	(12:00-13:00)	(総会)	
Y-7	13:30	ホッキョクグマのペーシングは予期行動か？ ○浅野一真・青木香澄・前野美紅・佐野祐介・立川佳晴・二宮 茂 （岐大院自然研・岐大動物園研セ・神戸市立王子動物園・天王寺動物園・浜松市動物園・岐大応生）	星野 智
Y-8	13:45	気温と水温が飼育下コツメカワソウ (<i>Aonyx cinerea</i>) の行動と空間利用に及ぼす影響 ○川島瑠月・江崎幸子・中川大輔・池田裕美・加瀬ちひろ（麻布大獣医・神戸どうぶつ王国）	
Y-9	14:00	飼育下ハシビロコウにおけるペアの一時分離・再同居が社会行動および活動性に及ぼす影響 ○奈良崎泉・長嶋敏博・勝野史子・山田一憲（大阪大人科・神戸どうぶつ王国）	
	14:15-14:30	～休憩～	

動物の行動と管理学会 2026年度研究発表会プログラム

まつもと市民芸術館 2026年3月24日（火）～26日（木）

3月25日（水）

ポスター発表

場所：M2会議室

時間：14:30～16:00（ポスター掲示は3月24日13:00～可能）

*演題番号が奇数の発表者は14:30～15:00、偶数の発表者は15:15～15:45を責任時間とし、ポスターの前にいなければならない。

No.	演題および演者
1	北海道の乳用牛舎におけるフォグシステムの実態調査 ○田辺智樹・藤田 千賀子・細字晴仁（道総研酪農試・釧路農業改良普及センター）
2	放牧牛群内の先導・追従行動成立条件の解明と音響誘導を用いた個体誘導の試行 ○篠田優香・上田靖子・朝隈貞樹・小松雅也・多田慎吾（農研機構北農研）
3	体重と体高のアロメトリ解析からみた哺育期の疾病と乳用育成牛の体型形成 ○新宮裕子・遠藤哲代・櫻井駿平・上田 宏一郎（道総研酪農試・北大院農）
4	乳牛におけるAssureWell評価プロトコルの翻訳と実践 ○日台 海・徳永有輝・高野 雅・池田哲平・大谷祐紀・（中央大文学・東海大院生物化学・TAF農場動物の動物福祉を考える会・BRAST Livestock Clinic・北大OHRC）
5	飼育下ゴールデン・ハムスターの回し車走行に及ぼす遊具導入の効果 ○中島定彦・徳江那月（関西学院大学文学部総合心理科学科）
6	実験用コモンマーマーモセットにおけるバルコニーケージの選好性 ○橋本直子・森本真弓・夏目尊好・愛洲 星太郎・宮部貴子（京都大学 ヒト行動進化研究センター）
7	アナグマの餌選択時における行動特性について ○堂 堯尋・江口祐輔（麻布大院環境・麻布大FWC）
8	飼育形態がコツメカワウソの発声パターンに与える影響の調査 ○志賀風太・芦刈治将・與倉陵太・板東 恵理子・渡邊果南・岩永七海・郡司芽久（東洋大生命・サンシャイン水族館・東洋大生命）
9	自動給餌器の導入が飼育下コツメカワウソの行動に及ぼす影響 ○村松咲菜・芦刈治将・與倉陵太・板東 恵理子・渡邊果南・岩永七海・郡司芽久（東洋大生命・サンシャイン水族館・東洋大生命）
10	動物園におけるfood wasteの飼料価値：ボンネットモンキーおよびトクモンキーを対象とした栄養学的調査 舟橋 昂・○星野 智・星野智紀・奥村太基・綿貫 宏史朗・八代田 真人（日本モンキーセンター・岐阜大院連農・岐阜大動セ・岐阜大応生・現所属：多摩動）
11	コアラが持つ採食選好性の人工知能予測ツールによる予測精度の評価 ○小倉匡俊（北里大獣医）
12	シセンレッサーパンダの行動調査における市民科学手法の精度評価 石田都貴・○中山侑（千葉市動物公園・東邦大理）

18:00～懇親会

3月26日（木）

口頭発表（一般発表）

場所：小ホール

時間：9:30～11:00 *各演題は、発表8分＋質疑応答5分とする。○は発表者。

No.	時刻	演題および演者	座長
I-1	9:30	汎用型スマートフォンを用いたウマ管囲の3D測定と被毛の影響 ○松浦晶央・松尾蓮花・松崎乃瑠（北里大獣医・現 アルテミスホースライディングクラブ・現 東社シーテック）	小針 大助
I-2	9:45	嗅覚エンリッチメントが乳牛の行動および乳中コルチゾール濃度に及ぼす影響 ○Arselin Jeanne・田辺智樹・二宮 茂（岐大院連農・道総研酪農試・岐大応生）	
I-3	10:00	Exercise-Related Personality Traits Are Associated With Gut Microbiome Composition and Meat Quality in Qingyuan Partridge Chickens ○Jiaxin Zhang・Siyu Chen（Foshan University・Tohoku University.）	
I-4	10:15	獣医師と動物福祉学研究者の「5つの自由」に対する認識の日英比較 ○大谷祐紀・金森 万里子・加藤博美（北大OHRC・ストックホルム大・農研機構）	加隈 良枝
I-5	10:30	ハクビシンにおける幅跳び能力の測定 ○江口祐輔・堂山 宗一郎・上田弘則（麻布大学FWC・農研機構畜産）	
I-6	10:45	飼育下ミナミアフリカオットセイ（ <i>Arctocephalus pusillus</i> ）の夜間における睡眠様行動の季節変化 ○金澤朋子・岡野 夏々未・五十嵐 多鶴子（日大生物資源・よこはま動物園）	

11:00-11:30

優秀発表賞授賞式・閉会の挨拶